

書いたことが本当になるOB・OG会誌

第4期 OG 篠田 和恵

皆さんこんにちは。小野ゼミ第4期の篠田です。私は現在27歳で、新卒で入社した会社（株式会社ベネフィット・ワン）に今も勤めていて、世田谷区で一人暮らしをしています。周りとはというと、当初23名いた会社の同期は11名になり、結婚した身近な友達は10名を超え、うち2010年に結婚した人はなんと5名！第4期中川（旧姓：富岡）亜矢さんもその1人です（本当におめでとう！）。

何が言いたいかというと、27歳という年齢は、仕事でもプライベートでもある意味結論を出す年頃なのかなということです。多くの方は社会人5年目で、ある程度責任ある仕事を任せられ、それをこなせるようになり、このまま今いる会社でキャリアを積むのか、それとも今までの経験を活かして新しい分野に挑戦するのか、はたまた「今の生活は自分の思い描いていたものとは違う！」と方向転換をするのか…。

私の場合は、転職を考えた時期もありましたが、会社の労働環境が良くなったり、経験が増えたことでより仕事がやりやすくなったりと、今いる会社で働き続ける方がメリットが大きいと感じたため、現在はもう2年は同じ会社で働いて、同じ会社の中でも新しい仕事をして、より多くの経験を積みたいと考えています。3年後は30歳ですが、その頃には元々興味があった「海外にはどんな国があるのか？」が学べる環境にいたいと思っています。主に興味があるのは、「教育制度が充実している国」「雇用の流動性が高い国」「人生満足度の高い国」についてです。そのために仕事を変えるのか、実際に海外に行ってみるのはこれから考えたいと思っています。

ただ、私が心の中で「書いたことが本当になる手帳」と呼んでいる手帳には、「実家、貯金、英語、テニス、退職（休職？）、海外、転職、結婚…」と書いてあるので、そのうちのいくつかが実現されると思っています。「書いたことが本当になる手帳」というのは、ある特定の手帳のことをいっているのではなく、「手帳」というものの自体がよくある自己啓発書ではないですが、書けば本当になるものだと思います。

過去に実現したものを挙げると、「引越し」「休日にレンタカーで1人でお出掛け」「フットワークを軽くする」「人がいいというものは積極的に取り入れてみる」などがあります。そういう意味ではこのOB・OG会誌も「書いたことが本当になるOB・OG会誌」ですね。皆さんにもやりたいことは意識的に「書いてみる」「話してみる」をおすすめします。

次回のOB・OG会誌にて自分のやりたいことが1つずつ実現できているのご報告できるように頑張ります。



会社の同期同士の結婚式にて（著者は花嫁の右後ろ）